

## 第2059回例会

5月18日(木)晴れ / 12:30 ~ 13:30 [松魚亭]

1. 講話  
大沢ワインズ 代表 大沢泰造 氏  
「OSAWA WINES について」
2. 出欠  
出席 32名 欠席 19名  
出席率 65.96%
3. 幹事報告  
・例会終了後、5月次年度理事会開催



4. ニコニコボックス  
講師 大沢泰造氏  
本日お話をさせていただきます。  
松本君、中川君  
本日の講師、大沢様のお話を楽しみにしています。  
木村君 本日、憧れの沢社長をお迎えして。お話をとても楽しみにしております。  
今日、誕生日を迎えました。満60歳になりました。人生の1/3をロータリアンとして生きることができました。感謝、感謝です。  
中川君 先日の金沢北ロータリークラブのゴルフコンペにて、初優勝させていただきました。  
また、準優勝に家内が入り、ワンツーフイニッシュという、まったく遠慮のかけらもない結果になってしまいました。申し訳ありませんでした。

合計 26,000円 (累計 802,000円)

## 第2060回例会 職場訪問例会

5月25日(木)晴れ / 12:30 ~ 13:30 [松魚亭]

1. 佃食品(株)
2. 出欠  
出席 30名 欠席 20名  
出席率 65.22% ビジター 2名
3. 来訪者(敬称略)  
金沢東RC 利光克仁  
香林坊RC 木下弘治
4. ニコニコボックス  
金沢東RC 利光君  
金沢東RCの利光です。金沢北RCさん初メークとなります。どうぞ、よろしくお願い致します。  
松本君、中川君  
本日は、職場訪問例会です。佃会員には、お世話になります。宜しくお願い申し上げます。  
内堀君 結婚記念日の花が届きました。お陰で、女房の笑顔を見れました。  
畠君 カエルの鳴き声がきれいです。  
考え方をカエル。家に早くカエル。未来をカエル。

合計 7,000円 (累計 809,000円)

## 第2061回例会

6月1日(木)晴れ / 12:30 ~ 13:30 [松魚亭]

1. 講話  
入船亭扇治 師匠  
「嘶家の言葉遊びで、頭の体操」
2. 出欠  
出席 30名 欠席 20名  
出席率 65.22%



3. 皆出席顕彰  
37ヵ年 本岡三千郎 君  
17ヵ年 中村 實博 君
4. 幹事報告  
・次年度におけるお誕生日祝い三択の件  
・本日、18時30分より松魚亭において新旧合同理事会
5. 結婚記念日祝い(敬称略)  
2日 的場 晴次  
26日 向峠 仁志
6. ニコニコボックス  
松本君、中川君  
入船亭師匠、二回目のお話を楽しみにしています。  
木村(功)君  
扇治さん、昨晚も落語も大好評でした。有難うございました。本日の講話もよろしくお願い致します。  
中村(實)君  
17年目の発見→会員番号は188番でした。気付かずすみません。有難うございます。  
吉井君、森君  
先日は、妻の誕生日にお花を頂き、有難うございました。  
森君 総会が無事に終わりました。  
中村(芳)君  
四人目の孫が産まれました。  
合計 14,000円 (累計 823,000円)

## 新旧合同理事会報告

6月1日(木) / 出席者 19名

- ◆審議事項(今年度理事会)
  - ①新会員の件 小島修一氏、渡邊尚孝氏 (承認)
  - ②退会会員の件(6月末) 深山彬君、奥田久雄君、合田昌英君
- ◆次年度理事会
  - ①次年度スケジュールの件
  - ②誕生日記念品の件 三社より自由に選択
  - ③夏祭り(8月3日)の件
  - ④軽井沢旅行(6月8~10日)の件 参加者15名(夫人4名含む)
  - ⑤その他

## 5月クラブ日誌

- 11日(木) 5月定例理事会 松魚亭にて
- 25日(木) 職場訪問例会 佃食品(株)

## 6月クラブ日誌

- 1日(木) 新旧合同理事会 松魚亭にて
- 22日(木) 最終例会 松魚亭にて

## 講話予定

- 6月22日(木) 最終夜間例会 松魚亭にて
- 7月6日(木) 会長・幹事ご挨拶
- 7月13日(木) 各統括委員長ご挨拶

- 会長/松本 範夫 ●会長エレクト/佐賀 務 ●副会長/内堀 茂
- 幹事/中川 茂樹 ●副幹事/中浦 洋昭 ●会長監督/野村 千秋 ●会計/岩網 大介
- クラブ会報委員長/中村 實博

- 会員数/50名 ●クラブ設立/昭和48年10月3日
- ◎例会日/木曜日 12:30~13:30
- ◎例会場/松魚亭 金沢市東山1-38-30 TEL:076-252-2271 FAX:076-252-2273



ROTARY CLUB OF KANAZAWA-NORTH

# 金澤北ロータリークラブ



発行 2017.6.15thu

No. 934

事務局/金沢市上堤町1番15号 金沢上堤町ビル3階  
TEL:076-222-2525 FAX:076-224-2882  
E-mail:k-kitarc@angel.ocn.ne.jp  
HPアドレス:http://www.kanazawa-north.jp



「春浅野川鯉流し」

## 六月の論語

子曰く、我<sup>われ</sup>生まれながらにして、  
 之<sup>これ</sup>を知る者<sup>あら</sup>に非<sup>ず</sup>  
 古<sup>いにしえ</sup>を好<sup>この</sup>みて敏<sup>びん</sup>にして  
 以<sup>もつ</sup>て之<sup>これ</sup>を求めたる者なり



## 一年間ありがとうございました。

クラブ会報委員長 中村 實博

今年度最後の会報になります。

お忙しい中、多くの方々よりご投稿を頂きありがとうございました。

今年度の特徴の一つとして「ロータリーの歩み」を8回、アーカイブとしての創刊号を1回載せさせて頂きました。少しだけいつもと違う会報を目指しましたが、なかなか難しいものです。もう一つの特徴は22の掲載文うち、行事・挨拶文が半数以上を占めており、行事などの多い年度を反映しています。

また表紙は、「移ろいゆく浅野川の四季」をテーマに6カットもの季節に応じた素敵な写真を取り揃えて頂いた大村氏にお礼申し上げます。

表紙下段の月々の「論語」は昨年8月号(No.924)より掲載し、会報の品位を高めています。

畠氏提案の論語の素読もすでに3年間に及び、例会の特徴的存在にまで定着してきました。

最終の投稿文は広報委員長として皆様へのお礼を兼ねて、拙い話を載せることをお許しください。

私の会員名簿の趣味欄に「古墳巡り」と載せてありますが、他の会員に同じ趣味の人は居らず、また個人的にも居ないので仕方なく妻を無理やりに同好者に仕立て上げ、時々連れまわしております。

今年は冬2月に「キトラ古墳」を、5月に高崎かみつけの里にある「八幡塚古墳」を見学してきましたので少しお話をさせて頂きます。

明日香村には「日本の心の故郷」として毎年多くの観光客が訪れます。小高い丘や山に囲まれ、なだらかな傾斜に沿って田畑が続くどこにでもある風景ですが、日本で唯一全村が古都保存法対象地区であることで、遺跡や景観が保全されているのです。

キトラ古墳は、奈良県高市郡明日香村の南奥にある阿部山集落のすぐ北側の小高い丘の斜面にその集落を見下ろすように作られていて、直径10m足らずの7世紀末から8世紀にかけて造られた古墳時代終末期の小円墳であり、「大陸風装飾古墳」として近くの高松塚古墳と並び国の特別史跡に指定され

ています。

「キトラ」とカタカナ表記され、あまり日本風ではない読みではありますが覚えやすい名でもあります。古墳の命名は地名に因んで付けるのが一般的なので、この地域が「キトラ」と地元の人たちが呼びならわしていたのでしょう。

平成28年9月に「キトラ古墳壁画保存管理施設」がオープンし、抽選で見学する機会を得たので寒い冬の中わざわざ出かけました。物好きと言われても仕方ありません。

しかし、実際に現地に行く事で感じる事が多くあるのです。

石郭は巾1m、長さ2.6m、高さ1.3mと、とても小さい。屈んで入るのも大変な狭さです。その中であのような「四神図、獣頭人身像、天文図、日月」を描いた画家の苦勞を想いつつ、そのような絵画に囲まれて眠ることにどのような思い・慣習を持った人々なのだろうと想像の世界に遊んでいました。

今回綺麗に整備された現地を見て感じたことの一つは、この古墳は阿部山集落の守り神のような位置にあり、キトラ古墳のすぐ上に集落の共同墓地がありますので、その思いを一層強くしました。被葬者の推定に「右大臣阿倍(あべの)御主人(みうし)」ではという学者がいますが、そうかもしれません。

もう一つは出土品の中に「漆塗り木棺片」とその飾り金具が出土していたことです。

石郭には当然棺を入れるのですが、それが漆塗りとは驚きました。

調べると、『漆塗木棺(乾漆棺)は、ごく一部の終末期古墳にみられ当時最高級の棺として貴人の葬送に用いられたと考えられる。』とあります。

大阪府立近(ち)かつ飛鳥博物館という安藤忠雄氏設計の立派な建物が南河内郡太子町にあり、そこに聖徳太子の棺の複製が展示してあり、そのあまりにも立派な棺に驚いたことを思い出しました。皇族関係者に限られています。

百済国の武(ぶ)寧(ねい)王(おう)陵の王と

妃の木棺も漆塗りで金銀の装飾金具でしつらえてありますが棺材は日本産の「コウヤマキ」を使用しており、我が国の古墳時代の木棺も多くがコウヤマキを使用しており関わりの深さを感じます。

古墳時代とは3世紀後半から7世紀末の約400年間を指しますが、「倭」と呼ばれている地域に「日本」という国が誕生してゆく黎明期に当たり、そのエネルギー源はどのようなものであったのかに大変興味を抱いています。

群馬県高崎市にある「かみつけの里博物館」の周囲は保(ほ)渡田(どた)古墳群公園になっており、3基の前方後円墳があり、その一つが「八幡塚古墳」です。外堀を含む全長190m、埴輪6000本、葺石40万個の上(かみつ)毛(け)野(の)(古墳時代の群馬県の地名)を代表する堂々たる古墳です。特色は堀の中に4基の「中島」と呼ばれる円墳形の島を持っている事と、人物や動物の埴輪を整然と並



キトラ古墳



玄武



八幡塚古墳



近かつ飛鳥博物館

## 佃食品株式会社を訪ねて

会員の場 晴次

佃会員のご厚意により佃煮をメインとした様々な食品を製造している工場を見学させていただいた。前回の訪問時と比べて、データに基づいた製造過程の徹底した品質管理には唯々驚かされるばかりであった。

会社の経営理念は「伝統をいかし、新たな創造に意を傾け、食品づくりを通じて人々の健康と豊かな食文化の向上に貢献する。」との思いはロータリー精神と相通じるものがあると思



べた区画を持っていることです。5世紀に大和政権地から遠い場所に日本でも有数な勢力を誇った王の本拠地があったことに驚きます。

綺麗に復元されて公園として整備されていますので、娘家族を伴し「孫」に古墳デビューをさせる目的で無理矢理連れていきましたが、思い出として残ってくれればと願っています。

取り留めもないお話をしましたが、誰も聞いてくれる人が居ないので書かせてもらいました。

あらためて一年間会報発行にご協力を頂きありがとうございました。

来年は大場委員長に交代しますが引き続きよろしく願いいたします。

追伸：キトラ古墳四神図の「北」の守り神は亀と蛇が絡み合う「玄武」です。亀は雌、蛇は雄を表し、再生誕生のシンボルです。

ます。しかも、佃会員の経営理念はしっかりと社員にも共有されており、お客様に喜ばれる商品の提供は会社の繁栄と社会の貢献に資するものとして、間違いなく会社の発展につながるものと思います。

最後に素晴らしい工場を見学させていただくと同時に、参加者全員にお土産までご用意していただきました、佃会員のご配慮に深く感謝申し上げます。